

毒キノコに注意を！



キノコは秋の味覚の代表です。
しかし毒キノコによる食中毒も発生しており、その約9割が秋に発生しています。
近年神奈川県内ではツキヨタケ、イボテングタケ、ニセシヨウロ属などの食中毒が発生しています。

キノコによる食中毒

原因 食用キノコとよく似た毒キノコを誤って食べてしまうことによる

代表的な毒キノコ ツキヨタケ、クサウラベニタケ、テングタケ、ニセクロハツ、シビシタケ、オオワライタケ、ドクササコ、ドクツルタケ、カエンタケ

潜伏期間 早期症状は摂食後2時間以内、後期症状は摂食後6-12時間以内、遅発性の胃腸炎や腎不全は摂食後1-2週間後

症状 消化器障害：吐き気、嘔吐、下痢、肝障害
神経障害：発汗、瞳孔縮小、徐脈、血圧低下、異常な興奮、流涎、散瞳、痙攣、幻覚

注意すべき毒キノコ



ツキヨタケ（農林水産省HPより）



クサウラベニタケ（厚生労働省HPより）



テングタケ（厚生労働省HP毒キノコに要注意！より）



ニセクロハツ（厚生労働省HP毒キノコに要注意！より）



神奈川県衛生研究所 企画情報部 衛生情報課
電話：0467-83-4400 FAX:0467-83-4457
<https://www.pref.kanagawa.jp/sys/eiken>

毒キノコに注意を！

キノコ中毒の症状一覧

作用など	潜伏期間	おもな症状	主な毒キノコ名	
消化器障害型	20分～2時間	吐き気、嘔吐、下痢、全身倦怠感	ツキヨタケ、クサウラベニタケ、オオシロカラカサタケ、ニガクリタケ	
神経障害型 (知覚異常及び神経症状)	副交感神経刺激	10～30分	発汗、縮瞳、徐脈、血圧低下	アセタケ、クサウラベニタケ
	副交感神経麻痺	30分～1時間	興奮、流涎、散瞳、錯乱、けいれん、意識障害	テングタケ、ハエトリシメジ
	中枢神経麻痺	30分～1時間	幻覚、知覚麻痺、めまい、言語障害、酩酊状態	シビレタケ、オオワライタケ
	末梢血管・運動神経刺激	数時間以上	不快感、吐き気、しびれ感、全身倦怠感、四肢末端の腫れ、激痛	ドクササコ
原形質毒性型※	コレラ様症状、肝臓・腎臓障害	6～10時間以上	突然の腹痛、激しい嘔吐、水様性下痢、脱水症状、糖代謝異常、肝細胞壊死、肝不全、腎不全	ドクツルタケ、シロタマゴテングタケ、テングタケモドキ
	溶血障害、心機能障害	10～30分	嘔吐、下痢、縮瞳、言語障害、血尿、心機能障害	ニセクロハツ
	循環器障害	30分～2時間	悪寒、腹痛、頭痛、嘔吐、下痢、口渇感、腎不全、循環器不全、脳障害	カエンタケ

※原形質毒性型：細胞内の原形質という部分に直接作用する

内閣府食品安全委員会HP 食中毒予防のポイント 表：キノコ毒の主な作用と症状 を引用、一部改変。

キノコ中毒の治療

中毒には**特効薬**や**ワクチン**は**ありません**。
治療の中心は対症療法です。
解毒療法も試みられていますが**良好な結果は得られていません**。

キノコ中毒の対策は・・・

毒キノコを食べないことが第一！
他の山菜に比べ外見で毒キノコを見分けるのは困難です。
安易に野生のキノコを採って食べないでください。

神奈川県衛生研究所 企画情報部 衛生情報課
電話：0467-83-4400 FAX:0467-83-4457
<https://www.pref.kanagawa.jp/sys/eiken>

(令和3年9月作成)